

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市道前ヶ崎・向小金1号道路拡幅事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・児童	意図	歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。
事業内容	歩道未整備区間である向小金福祉会館前から旧たけの子ルーム前までの約170m区間における歩行者の安全確保を目的に幅員2.5mの歩道整備を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	事業実現に向けた歩道整備に伴う公有財産購入、物件調査を実施した。平成27年度には、工事を実施し供用開始した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		整備率	45.20	48.30	100	%	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)						算定式(成果指標の場合)
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	事業期間(平成23年度～平成27年度)で、平成27年11月に供用開始をした。また、共有地における登記手続きが未了である。(起工承諾において、工事は実施した。)			
事務事業の総コスト(a=b+c)	84,054,654	41,635,360	38,313,167				
事業費(b)(円)	77,067,654	34,725,360	30,783,167				
うち一般財源	3,960,204	4,279,810	7,051,567				
職員給与費(c)(円)	6,987,000	6,910,000	7,530,000				
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	終了(事業を終了すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	事業完了に向け、確実に事業を進める。
今年度(H27)に実施した取組	工事を実施し供用開始した。

取組の課題	墓地共有地等を含めた関係者すべての合意形成。
今後の改善計画	関係者への事業協力要請。